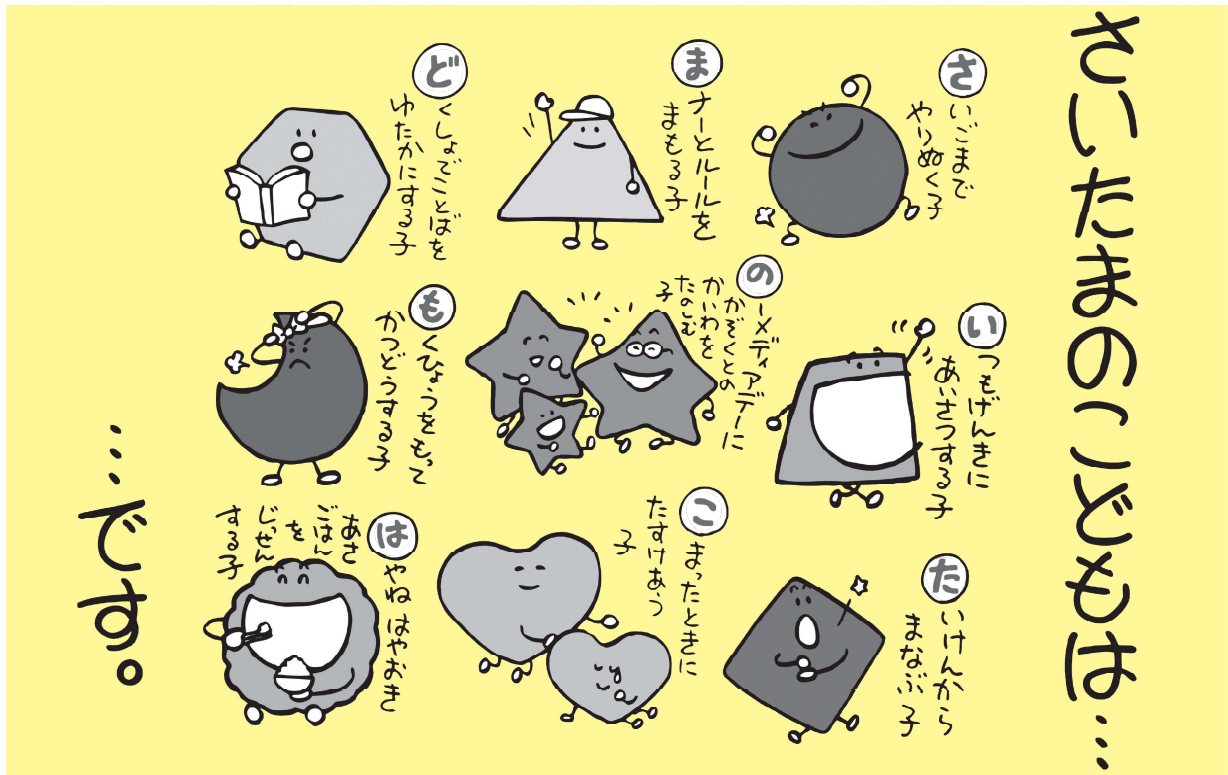


感染症に負けない体をつくるために、健康的な生活習慣を！



新型コロナウイルス感染症の影響により外出の機会が減って、おうち時間が長くなっています。運動する機会が減ったり、ゲーム時間が長くなったりしていませんか。おやつばかり食べていませんか。感染症に負けない体をつくるために、「さいたまのこどもは」を活用して、生活習慣をもう一度見直してみませんか。

「さいたまのこどもは」は、学校・家庭・地域が「望ましい生活習慣等を身に付けた子どもの姿」を共有できるよう、目指す子どもの姿を9つのキャラクターで表現したものです。

お子様と一緒に、すでに身に付いているものと、今後身に付けたいものを話し合ってみましょう。

いくつか当てはまるかな？ 家族みんなで話し合っ、当てはまるものを○で囲んでみよう！！

- さい 最後までやり抜く子 「失敗は、うまくいかないということを確認した『成功』です！」
- さい いつも元気にあいさつする子 「笑顔で、あいさつしよう！」
- た 体験から学ぶ子 「体験活動やボランティア活動に参加しよう！」
- ま マナーとルールを守る子 「みんなが気持ちよくなる行動をしよう！」
- の ノーメディアデーに家族との会話を楽しむ子 「メディア(テレビ、ゲーム、インターネット)のルールをつくろう！」(毎月23日はノーメディアデー)
- こ 困ったときに助け合う子 「困っている人には、『お互い様』の心で声をかけよう！」
- こ 読書で言葉を豊かにする子 「読書タイムで、言葉の世界を楽しもう！」
- も 目標をもって活動する子 「目標を立て、一つずつ取り組もう！」
- は 早寝・早起き・朝ごはんを実践する子 「一日を気持ちよく生活できるリズムをつくろう！」

さいたま市教育委員会 生涯学習部 生涯学習振興課 家庭地域連携係
 電話：048-829-1703 FAX：048-829-1989
 Mail：shogai-gakushu-shinko@city.saitama.lg.jp
 このリーフレットは108,000部作成し、1部あたりの印刷経費は約2円です。

詳細はこちらへ



コミュニティ・スクールを全市立学校で推進しています



さいたま市では、令和4年度から全ての市立学校で「コミュニティ・スクール（学校運営協議会制度）」を導入し、学校・家庭・地域がこれまで以上に連携・協働して、子どもたちの未来を見据えた教育活動を展開していきます。

熟議の例

「さいごまでやりぬく子」をはぐくむためにはどんなことが必要か、学校運営協議会で行われた熟議の様子を紹介します。

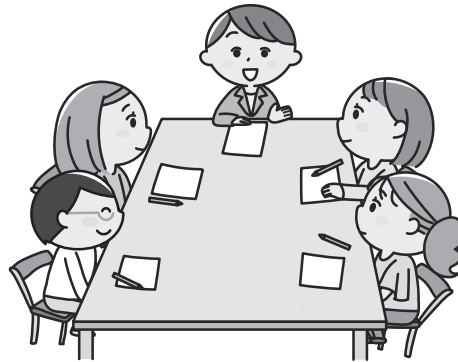
学校運営協議会

校長先生

本校の子どもたちは、挑戦しようという気持ちはあるのですが、途中で諦めてしまう子が多い傾向にあります。

保護者Aさん

将来、乗り越えなければならない壁に立ち向かうためにも、やり抜く力が大切です。



保護者Dさん

子どもたちの意欲が高まるような取組を提案させてみませんか。

地域住民Cさん

感動や達成感を味わえる学校や地域の行事などを洗い出し、できるだけ多くの大人が関わり、支援する仕組みを考えましょう。

地域住民Bさん

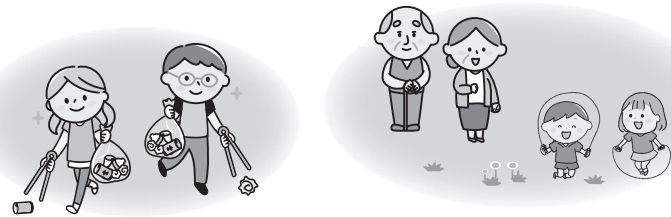
学校や家庭だけでなく、私たち地域住民も子どもを励ましたり、支援したりする必要がありますね。

「熟議」による「協働」が進み、学校・家庭・地域が目標・ビジョンを共有した取組が展開します

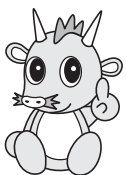
「さいごまでやりぬく子」

目標を共有して、協働します

学 校 連 携 家 庭 連 携 地 域



- なわとびの記録に挑戦する
- ボランティア活動に参加する
- お祭りの準備に協力する
- 家のお手伝いを続ける など



さいたま市PRキャラクター
つなが竜又ウ

さいたま市は、学校・家庭・地域の連携・協働により、コミュニティ・スクールを全校において実施し、子どもも大人も学校も地域も元気になる、「生涯の学びを通じて自分とまちが輝く未来」を創っていきます。

さいたま市のコミュニティ・スクールについてもっと知りたい方は で検索！